

神社の境内で観客を楽しませる

## 第69回全県かけ唄大会&じんじゃず



■ 島山正さん



「第69回全県かけ唄大会」および「じんじゃず」が、8月23日に六郷地区の熊野神社境内で開催されました。

全県かけ唄大会では、町内外から5名の唄い手が出場し、夏の暑さや物価上昇など、世相を反映した掛け合いが披露されました。白熱した戦いは深夜にまで及び、島山正さん(関田)が3大会連続で最優秀賞を受賞しました。今回はかけ唄大会の合間にじんじゃずが行われ、町内外から集まった参加者が、歌や演奏を披露し観客を盛り上げました。

相互に訪問し交流深める

## 千畑小学校と御田小学校(東京都)の学校間交流推進事業

千畑小学校と相互に交流している東京都港区立御田小学校の4年生から6年生の児童24名とPTA関係者など16名が、8月4日から6日にかけて美郷町を訪れました。両校の児童は、せせらぎ公園での魚のつかみ捕りや清水巡り、千畑小校庭での野菜パーティーを楽しみました。なお、7月29日から31日にかけて、千畑小の児童12名とPTA関係者など5名が東京を訪れ、御田小の児童と一緒に増上寺に宿泊したり、都内を観光したりして交流を深めました。



時間をともに交流深める

## 仙南小学校と千駄木小学校(東京都)の学校間交流推進事業

東京都文京区立千駄木小学校の5年生16名が、8月29日から30日にかけて美郷町を訪れました。同校児童は仙南小学校を訪問し、給食の時間や休み時間、授業などをともに過ごして交流を深めました。また、町内での清水巡りや星空観察、野菜収穫体験や地元産食材を使用した昼食づくりなど、美郷町の魅力を満喫しました。なお、来年1月には仙南小の児童が千駄木小を訪問する予定です。



車載電池と日本の今後

## 美郷カレッジ



■ 佐藤登氏

工学博士の佐藤登氏(名古屋大学未来社会創造機構客員教授、エスペック株上席顧問、イリソ電子工業(株)社外取締役)が講師を務める「美郷カレッジ」が、9月2日に美郷町公民館で開催されました。佐藤氏は「経済安全保障の車載電池におけるグローバル競争と日本の立ち位置」と題して講演し「海外では車載電池の火災事故が多いが、日本製電池を搭載した日本製電動車の火災事故は26年間で一度もない。世界でも日本しかない素晴らしい実績」と話しました。このほか、電池業界のビジネス動向や電動化シフトによる国と産業界の課題などについても話しました。

防災意識を高める

## 防災重点ため池防災訓練

美郷町では初となる「防災重点ため池防災訓練」が、9月10日に大坂地域を対象に行われました。当日は15世帯22名の住民が参加し、ため池管理者による現地確認や地元自治会から要請を受けた町消防団による避難の呼び掛け、大曲消防署東分署による安否不明者宅への出勤などさまざまな訓練が行われました。訓練終了後、東分署の荒木田副分署長が「今回の訓練での経験を生かして、実際に危険を感じた場合は早めに避難することを心掛けてください」と話しました。



■ 安否不明者の救出訓練をしている様子



MISATOPICS

## 町の話



# 株式会社龍角散の千葉工場に 厚生棟「令和ホール」が新設されました

美郷町と連携協定を締結している株式会社龍角散(代表取締役社長・藤井隆太)の千葉工場に、厚生棟「令和ホール」が新設されました。厚生棟には美郷町産の秋田杉がふんだんに使用されています。9月13日に同棟で行われた竣工式には松田町長も出席し、竣工を記念した盾を藤井社長へ贈呈しました。美郷町は龍角散へ製品の原料となるキキョウを出荷しており、今後も安定的な出荷を目指して、龍角散との取り組みを進めていきます。



■千葉工場の厚生棟「令和ホール」



■竣工を記念して贈呈した盾

こうした訓練では廃車が利用されますが、わが愛車も「その古さにあるよ」と突き付けられ、ショックでした。と同時に、「わが愛車は良くがんばっているよ」と、愛車を誇らしくも思いました。言う間でもなく、経済を回す視点では一定頻度でモノを取り換えていくことは大切です。他方、製作への敬意や資源活用の視点では、「使えるものは使い切る」こ

例年より暑さが継続したり9月、隣接市で県総合防災訓練がありました。いろいろな想定での訓練でしたが、「おつ」と思ったのが、被災車から人を救助する訓練。なんとその訓練用被災車が、わが愛車と同じ車種、同じ型式ではないですか。

## 使い切る

COLUMN WINDS  
コラム  
風

美郷町長  
松田知己

とも大切。両方を思った瞬間でもありました。

さて、こうした表裏の価値観は、車のみならず全てに共通です。どちらの考えに立つのかは、対象物の種別によって左右されるわけですが、公共施設に対する町の考え方は、基本、使えるものは使い切る価値観です。多額の税金を投入しているからです。そのため、かつての町スポーツ振興事業団のトレーニングセンターは、その後、美郷中学校附属のセミナーハウスにし、その役割を終えた現在、内部改修工事を経て、今月からは文化財等の保管庫になります。美郷町の歩いた時間に比例し、文化財など町所有物が徐々に増え、これまでの収蔵スペースでは



▲秋田県公立幼稚園・保育園長等研修会で講演する松田町長

一杯いっぱいになってきたからです。それに伴い、これまで収蔵施設だった旧中央公園プール管理棟は役目を終え、解体します。使い道が難しく、老朽化も進んでいるためです。ただ、解体後の更地は次の利用に向かいますので、土地は使い切っていく方向になります。なお、こうした施設の活用変化は、今後も生じてまいります。その際には、利用環境を踏まえつつ、説明に努めてまいりますので、よろしく願います。

実はわが愛車、カーナビ関係で2回ほど手術を行っております。やはり、どこかが具合悪くなってきました。使い切るということは、手を掛けるということなんですよね。自分の体と一緒に(笑)。(先月の文体は……というところで、従前の文体に戻しました)